

1. 基本情報

国名：コンゴ民主共和国

案件名：キンシャサ市道路維持管理機材整備計画（The project for Improvement of Road Maintenance Equipment in Kinshasa City）

G/A 締結日：8月7日

2. 事業の背景と必要性**（1）当該国における道路セクター**

コンゴ民主共和国においては、長年の政情不安に端を発する政府機能の不全、経済活動の停滞、失業等の社会問題、基幹インフラの未整備が深刻な課題となっている。特に、当国の道路舗装率は2%と低く、道路状況は劣悪である等、運輸インフラ整備の遅延が社会・経済発展を阻害している。このため当国政府は、現在策定中の開発戦略国家計画（2017-2021）において、「インフラ整備」を重点分野に掲げ、道路を含む運輸インフラの整備（ハード面）及び維持管理（ソフト面）を優先的取組事項として位置付けている。

特に当国の都市道路の45%が集中するキンシャサ市内は、域内紛争避難民の流入等による人口急増を背景に、無秩序な都市化及び居住地の拡大が著しい。道路舗装率は26%（2015年JICA調査）と国全体平均に比して高いものの、維持管理業務の予算執行率は年間計画の50%に満たず（2015年当国道路維持管理基金）、道路の老朽化や損傷が深刻となっている。その結果、輸送時間及びコストの拡大、病院等の社会サービスへのアクセス悪化、一部の舗装道路への交通集中に伴う渋滞発生等が課題となっている。

当国では、道路・排水公社（Office des Voiries et Drainage。以下「OVD」という。）が主に当国の州都内の道路の維持管理を担っているが（舗装改良等の大規模工事を除く80%が直営）、ブリガード（作業担当部局）の保有機材の30%が故障中であり、実際は現地代理店から部品入手が困難であることから修理不能となり、維持管理が進まない要因となっている。一方、道路公社（Office des Routes。以下「OR」という。）は主に当国内全土の幹線道路網（国道と州道）の維持管理を担っているが、キンシャサ市内の国道等での緊急補修工事や小補修工事のための日常整備機材が不足している。また、維持管理作業にて補修可能な道路も、上記要因により劣化が進行し、大規模な改修が必要となり維持管理費用の増加につながっている。

かかる中、キンシャサ市道路維持管理機材整備計画（以下「本事業」という。）は、OVD及びORに対する維持管理機材の整備を通じ、同市の劣悪な道路状況の改善を目指しており、上述国家計画を具現化するものとして位置付けられる。

(2) 道路セクターに対する我が国及び JICA の協力方針等と本事業の位置付け

我が国の対コンゴ民主共和国国別開発協力方針（2012 年 12 月）は、政府 5 カ年行動計画に基づく国家再建を後押しすべく、道路を含むインフラ整備支援を基本方針とし、キンシャサ市内道路の改修・建設を喫緊の課題としている。また、同方針の事業展開計画は「経済インフラ整備（運輸網・都市整備）プログラム」を掲げ、復興開発の基盤となるインフラ整備を図る方針。本事業は、同市内の道路維持管理機材の整備を通じた都市道路の移動・輸送機能の改善を目的としており、我が国の協力重点分野・協力プログラムと整合している。過去の関連する当機構の支援実績として、無償資金協力「キンシャサ市ポワ・ルー通り補修及び改修計画（フェーズ 2）」（2014 年 5 月完工）等がある。

(3) 他の援助機関の対応

世界銀行（WB）、欧州連合（EU）、アフリカ開発銀行（AfDB）等が国道や都市道路の補修・改修等を実施。WB はキンシャサ市ミリタン通り・ルケンゴ通り等の補修、EU はバンドウンドウ州、バコンゴ州等の国道・橋梁・都市道路の補修・改修、AfDB は国道の補修・改修、総合交通マスタープラン策定等を実施しているが本事業との重複はなし。

3. 事業概要

(1) 事業目的

本事業は、キンシャサ市内の OVD 及び OR の道路維持管理機材を整備することにより、キンシャサ市内道路の維持管理状態の改善を図り、もって同市内の交通網の利便性向上や社会サービスへのアクセス改善に寄与するもの。

(2) プロジェクトサイト／対象地域名

キンシャサ市（人口約 1,159 万人、市街地面積約 583 km²）

(3) 事業内容

ア) 施設、機材等の内容

【機材】ロードスタビライザー、ブルドーザ、モーターグレーダ、コンバインドローラ、タンデムローラ、油圧シャベル、ホイールエクスカベータ、アスファルトフィニッシャー、タイヤローラ、ホイールローダ、スペアパーツ等

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：

詳細設計、入札補助、調達監理。ソフトコンポーネントなし。

ウ) 調達・施工方法：主要機材については日本での調達を予定。

(4) 総事業費

総事業費 1,107 百万円（概算協力額（日本側）：1,062 百万円、コンゴ民主共和国側：45 百万円）

(5) 事業実施期間

2018年8月～2020年2月を予定(計19か月)。機材の供用開始時(2020年2月)をもって事業完成とする。

(6) 事業実施体制

1) 事業実施機関: インフラ・公共事業・再建設省 (Ministère des Infrastructures, Travaux Publics et Reconstruction)

2) 運営・維持管理機関: 道路・排水公社 (Office des Voiries et Drainage: OVD)、道路公社 (Office des Routes: OR)

(7) 他事業、他援助機関等との連携・役割分担

1) 我が国の援助活動: 技術協力「道路維持管理能力強化プロジェクト」(2016-2018)ではOVD及びORを実施機関として、キンシャサ市及びその近郊の舗装道路を対象とした維持管理サイクルの確立や維持管理技術指針の策定、舗装補修技術の指導等を実施中。本事業を通じてOVD及びORに維持管理機材を整備することで、維持管理体制の更なる強化が可能となる。

2) 他援助機関等の援助活動: 特になし。

(8) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類: C

② カテゴリ分類の根拠: カテゴリ分類の根拠: 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010年4月公布)上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 横断的事項: 特になし

3) ジェンダー分類: ジェンダー対象外

<活動内容/分類理由>ジェンダー視点に立った具体的な活動内容の実施に関して、必要性が見込めないため。

(9) その他特記事項: 特になし

4. 事業効果

(1) 定量的効果

1) アウトカム (運用・効果指標)

指標名	基準値 (2016年実績値)	目標値(2023年) 【事業完成3年後】
舗装補修距離 (km)	253.5	441.0
日交通量 (台/日) (コンゴ日本大通り)	27,576	34,896
旅客数 (人/年) (コンゴ日本大通り)	51,989,355	65,849,000

2) インパクト:キンシャサ市内の交通網の利便性向上や社会サービスへのアクセス改善に寄与する

(2) 定性的効果

- キンシャサ市内道路状況の改善によって、道路の利便性（通行のしやすさ・安全性等）が向上する。
- キンシャサ市内の社会サービスへのアクセスが改善される。

5. 前提条件・外部条件

(1) 前提条件：特になし

(2) 外部条件：今後予定されている大統領選挙等により、現地の治安情勢が悪化しない。

6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

アルメニア共和国向け無償資金協力「エレバン市道路維持管理機材整備計画」の事後評価等（2007年）では、整備機材のスペアパーツの発注から到着までに長時間を要し、その間機材を使用できない事例があった。本事業では当国やその近隣諸国の販売代理店においてスペアパーツが入手可能な機材選定を行った。

7. 評価結果

本事業は、当国の開発課題・開発政策、我が国及び JICA の協力量針に合致するものである。OVD 及び OR の道路維持管理機材を整備することにより、キンシャサ市内道路の維持管理状態の改善に資するものであり、SDGs ゴール 9「強靱なインフラの構築、包摂的で持続可能な工業化の促進とイノベーションの育成」に貢献すると考えられることから、事業の実施を支援する必要性は高い。

8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる指標

4. (1) ~ (2) のとおり。

(2) 今後の評価スケジュール

事後評価 事業完成 3 年後

以上